

科目名	機材概論 I		担当講師	齋藤 康次	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1 学年	対象専攻	サウンド・ステージ専攻		授業形態 講義
期 間	3期・4期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
3期	マイクロフォン、D.I.、ケーブル、ミキサーに関する各スペックについて修得する。				
4期	エフェクター、パワーアンプ、スピーカーの基礎知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月18日	授業ガイダンス マイクロフォンの種類と特性(基礎編)			
2	10月25日	D.I.の種類と特性(基礎編)			
3	11月1日	ケーブルの種類と特性(基礎編)			
4	11月8日	ミキサーの種類と特性(基礎編)			
5	11月15日	パワーアンプの種類と特性(基礎編)			
6	11月22日	スピーカーの種類と特性(基礎編)			
7	11月29日	校内にあるマイクのスペックを知る 各スペックの見方			
8	12月6日	校内にあるD.I.のスペックを知る 各スペックの見方			
9	1月17日	MIXバランスについて ケーブルの扱い方			
10	1月24日	ブロックダイヤグラムについて			
11	1月31日	FXの種類と基礎知識 REV, DELAYのパラメーターについて			
12	2月7日	デジタルコンソールの概要			
13	2月14日	試験対策			
14					
15					
評価方法	A評価 定期試験(筆記試験)の素点で評価 平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	39時間中 14時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	ローディー実習Ⅱ		担当講師	斎藤 康次	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1 学年	対象専攻	サウンド・ステージ専攻		授業形態
期 間	3期・4期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
3期	キーボードのセッティング技術を修得する。				
4期	4リズムのトータルのセッティングや転換作業を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月18日	授業ガイダンス			
2	10月25日	キーボードの概要と基本セッティングの説明			
3	11月1日	キーボードのセッティング練習			
4	11月8日	キーボードのセッティング練習			
5	11月15日	エフェクターについて			
6	11月22日	電源と感電対策、テスターの使い方について			
7	11月29日	K-1に向けて 楽器の転換作業			
8	12月6日	K-1に向けて 楽器の転換作業			
9	1月17日	実技テストに向けた練習			
10	1月24日	実技テスト			
11	1月31日	実技テスト			
12	2月7日	実技テスト			
13	2月14日	試験対策			
評価方法	B評価 平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	39時間中 14時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	舞台音響技術概論 I		担当講師	梶野 泰範・千葉 諭	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1 学年	対象専攻	サウンド・ステージ	専攻	授業形態
期 間	3期・4期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
3 期	舞台音響機構に関する知識を、舞台機構調整作業筆記試験・実技試験内容に沿う形で学び、習得する。				
4 期	舞台機構調整技能士3級取得に向けた模擬試験を経て、傾向と対策を理解する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月19日	舞台一般の知識、劇場・舞台の種類、歴史を学ぶ / 実技試験の概要説明、練習			
2	10月26日	舞台機構設備、照明設備、映像設備の基礎知識や舞台用語を学ぶ / 実技試験の練習			
3	11月2日	音響の基礎知識、音の物理的知識、聴覚に関する知識を学ぶ / 実技試験の練習			
4	11月9日	音響機器の種類、構造、機能及び用途を学ぶ / 実技試験の練習			
5	11月16日	音源の基礎、声、楽器、音楽の基礎の知識を学ぶ / 実技試験の練習			
6	11月30日	電気の基礎を学ぶ / 実技試験の練習			
7	12月7日	室内音響、電気音響設備動作特性と測定の知識を学ぶ / 実技試験の練習			
8	1月18日	ミキシング技術及びデザインの知識、音楽ジャンルにおけるテクニックの知識を学ぶ / 実技試験の練習			
9	1月25日	関係法規、安全衛生の知識を学ぶ / 実技試験の練習			
10	2月1日	学科試験・実技試験のシュミレーションを行う①			
11	2月8日	学科試験・実技試験のシュミレーションを行う②			
12	2月15日	学科試験・実技試験のシュミレーションを行う③ / 定期試験対策			
評価方法	A評価 定期試験(筆記試験)の素点で評価 平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	72 時間中 25時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	PA実習Ⅱ		担当講師	斎藤 康次	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1 学年	対象専攻	サウンド・ステージ専攻		授業形態
期 間	3期・4期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
3期	基本的なPAシステムの概要やセッティング技術を修得する。				
4期	ライブにおける、基本的なオペレート技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月13日 10月14日	授業ガイダンス 前期修得度の確認 基本的なPAシステムや機材の扱い方について			
2	10月20日 10月21日	HOUSE返しについて AGセットの仕込み&チェックを実践 モニターシステムの把握 モニターコンソールのシステムや操作方法について			
3	10月27日 10月28日	Q1/QSUBシステム、GEQの説明&チェック方法 仕込み作業の反復練習 問題点を修正			
4	11月10日 11月4日	デジタルミキサーの説明 MIXバランスについて 仕込み練習			
5	11月17日 11月11日	K1ライブの説明、シュミレーション デジタルミキサーの説明			
6	11月24日 11月18日	仕込み作業の反復練習 問題点を修正 転換についての説明 ポン出し練習やMCとのバランスについて			
7	12月1日 11月25日	K1ライブの説明、シュミレーション MIXバランスについて 仕込み練習			
8	1月19日 12月2日	リバーブ、ディレイの活用方法について K1ライブの仕込み			
9	1月26日 1月20日	マイク鳴き比べ～チョイスしたマイクとマイキングで聴いてみる マイクの鳴き比べ マイキングによる音の違いを聴き比べる			
10	2月2日 1月27日	MIXバランスについて 仕込み練習 マイク鳴き比べ～チョイスしたマイクとマイキングで聴いてみる			
11	2月9日 2月3日	イコライジングについて MIXバランスについて 仕込み練習			
12	2月16日 2月10日	後期まとめ イコライジングについて			
13	2月17日	後期まとめ 定期試験対策			
評価方法	B評価 平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	150時間中 51時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	音響概論Ⅱ		担当講師	田上 涼	
講師実務経験	ライブハウス勤務				
対象学年	1 学年	対象専攻	サウンド・ステージ専攻		授業形態
講義					
期 間	3期・4期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
90 分					
期	修 得 目 標				
3期	イベントを作り上げる上で必要な基礎知識を修得する				
4期	イベントに沿った音響プランニングを修得する				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月15日	授業ガイダンス、前期の復習			
2	10月22日	K-1ライブについて、K-1ライブの役割分担、セクション分け			
3	10月29日	ライブを作り上げる上での必要資料について			
4	11月5日	転換の概念と、転換プランの作成の仕方について			
5	11月12日	K-1ライブプランニング①			
6	11月19日	K-1ライブプランニング②			
7	11月26日	K-1ライブプランニング③			
8	12月3日	K-1ライブ進捗状況最終確認			
9	1月21日	K-1ライブ反省会			
10	1月28日	新入生歓迎ライブについて、新入生歓迎ライブの役割分担、セクション分け			
11	2月4日	新入生歓迎ライブのプランニング			
12	2月18日	定期試験対策			
評価方法	A評価 定期試験(筆記試験)の素点で評価 平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	24時間中 9時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	就職ガイダンス		担当講師	一岡 永	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1 学年	対象専攻	A、B組 全専攻		授業形態
期 間	3期・4期	総授業回数	15 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
3期	企業情報を収集し、就職計画を立てる。応募書類を理解し、受験に備える。				
4期	一般常識を学び、受験に備える。受験企業の求人情報を収集し、エントリーを開始する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月15日	就職用写真の撮影準備について/自己PR作成			
2	10月22日	求人検索方法、就職支援サイト利用方法について/志望動機作成のポイント			
3	10月29日	応募条件について考える/志望動機、自己PR作成			
4	11月5日	学校書式の履歴書について/履歴書作成練習			
5	11月12日	就職活動計画見直し/履歴書作成練習			
6	11月19日	エントリーシートの質問項目と解答例			
7	11月26日	応募書類について/履歴書作成練習			
8	12月3日	就職希望調査書配布説明/履歴書作成練習			
9	1月21日	筆記試験対策(一般常識)/エントリーシート作成練習			
10	1月28日	筆記試験対策(SPI)/エントリーシート作成練習			
11	2月4日	面接対策			
12	2月18日	春休み中に出来る事/3月の求人公開に向けて			
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト	プリント配布				
注意事項	12回中5回の欠席で修得済評価不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	時事研究		担当講師	斎藤 忠貞	
講師実務経験	元放送局勤務				
対象学年	1 学年	対象専攻	A,B組 全専攻		授業形態 講義
期 間	3期・4期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間 45 分	
期	修 得 目 標				
3期	日常のニュースの詳細とその背景を考える。また、あらゆる分野について現状分析と問題点を理解し修得する。				
4期					
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月15日	世界情勢① 米国と中国Ⅰ。			
2	10月22日	世界情勢② 米国と中国Ⅱ。			
3	10月29日	世界情勢③ 香港・チベット問題。			
4	11月5日	世界情勢④ 尖閣と台湾。			
5	11月12日	世界情勢⑤ 中東情勢Ⅰ。			
6	11月19日	世界情勢⑥ 中東情勢Ⅱ。			
7	11月26日	環境汚染問題① 石炭と温暖化。			
8	12月3日	環境汚染問題② 福島原発の今。			
9	1月21日	環境汚染問題③ プラスチックゴミの恐怖。			
10	1月28日	環境汚染問題④ 海面上昇の現実。			
11	2月4日	環境汚染問題⑤ 進む森林破壊。			
12	2月18日	環境汚染問題⑥ 汚染される食品。			
評価方法	A評価 定期試験(筆記試験)の素点で評価 平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)				